

「地域畜産ふれあい体験 交流活性化事業を振り返って」

社団法人 岡山県畜産協会 経営指導部

1 はじめに

地域畜産ふれあい体験交流活性化事業とは、畜産物の生産現場や畜産の果たしている役割並びに家畜と人の関わりなどを消費者や児童生徒に理解してもらうとともに、都市と農村の交流を推進する受入農家数の増加を図り、畜産体験交流の活性化を図るため関係団体と連携協力のもと畜産ふれあい体験活動と情報の提供等を行うことを目的とした事業です。

本年度は、事業最終年度ということもあり、例年よりも多く講習会等を予定していましたが、口蹄疫の発生があり、牧場視察が行えないため、本事業の実施そのものが危ぶまれましたが、8月の終息宣言を受け、10月下旬より本格的な活動を行いました。

その概要について、簡単にご説明したいと思います。

なお、体験学習・牛肉調理教室につきましては、畜産便り 22年11・12月号、23年1月号のホットニュースをご参照ください。

2 講習・研修会

◎松崎牧場・オハヨー乳業

平成22年6月21日（月）（社）岡山県栄養士会地域活動栄養士協議会の会員36名を対象に開催しました。

乳業メーカーは、ふれあい事業においては、初めての試みとして、牛乳の流通についての説明や工場内の見学などを行いました。

次に松崎牧場にて松崎まり子さんより「牛乳の生産」についてお話ししていただきました。ジェラードのお店を見学した後、口蹄疫を懸念して、牛舎の外からの視察となりましたが、「住宅地の中の牧場」にとっても驚かれるとともに、牛乳の生産にとってのえさの重要性や飼料イネの話など興味深く聞かれました。



◎畜産研究所・まきばの館

平成22年10月7日（木）新任の先生19名を対象に、県産畜産物＜県産牛乳・ヨーグルト・おかやま和牛肉・おかやま黒豚・おかやま地鶏＞の試食会を行いました。とてもおいしいと好評でしたが、おかやま和牛肉については、「少ししつこいかな」という意見もあり、今は赤身肉の人気も高まっているとのことですが、消費者ニーズの多様性を実感しました。

今回は、衛生的な観点から直接牛と触れ合うことはできませんでしたが、畜産研究所の森専門研究員より県産畜産物の生産と流通についてお話しをいただき、畜産物のPRが行われました。今回のことをきっかけに先生方の食育への感心がより一層高まっていくことを期待しています。

◎岡山JA畜産（株）美星農場・岡山県営食肉地方卸売市場

平成22年11月12日（金）生活協同組合おかやまコープ会員22名を対象に開催しました。

岡山JA畜産（株）美星農場において養豚の見学を行い、豚の品種や肉豚になるまでの流れ・繁殖などについて説明がされました。コープ会員の方からも今年の夏の猛暑の影響や口蹄疫について、後継者問題など様々な方面の質問があがり、熱心にメモをとりながら聞き入っていました。

その後、岡山市に戻り、「食肉になる流れ」や「食肉市場における衛生管理」についての説明をしていただいた後、岡山県食肉センターで枝肉カットの見学を行い、衛生管理がしっかりされている様子に感心されていました。

最後に、平本課長より「お肉の中に含まれているオレイン酸は、悪性コレステロールを抑え、生活習慣病を予防する働きもあり、最近では、お肉を食べることによって『幸せを感じる』作用があることもわかってきた。皆さんもしっかりお肉を食べて、県産の牛肉・豚肉の消費拡大を推進して行って欲しい」と結びました。



◎徳山牧場・(有)アグリフーズ ～おかやまフォーベルネットとともに～

平成22年11月24日(水)岡山県栄養士会井笠支部12名・おかやまフォーベルネット会員9名を対象に開催しました。

徳山牧場さんの搾乳ロボットの見学や「徳山牧場アイス工房」での試食、(有)アグリフーズ自販機の説明などを行いました。「直売所や自動販売機を通じて、消費者と直接触れあえることは、仕事をする上で励みとなり、やりがいを感じます」とフォーベルネット会員でもある(有)アグリフーズの岡さんに語っていただきました。

その後、消費者団体である栄養士会の方と生産者団体であるフォーベルネット会員とで意見交換会を行いました。

「本当に安全・安心な食品とは何か？」という話やトレサビリティシステムについての説明などを行い、それぞれ立場は違うものの、

「安全安心なおいしい食品を届けたい」という想いで毎日の仕事に取り組んでいらっしゃるようです。



◎永禮牧場・おからくクーラーステーション・(社)岡山県畜産協会生乳検査部

平成22年12月7日(火)岡山県栄養士会津山支部17名を対象に開催しました。

視察先である永禮牧場では、牛舎の他堆肥舎などの見学を行い、循環型農業を感じていただきました。

また、永禮さんの酪農に対する熱い想いに大変感激され、「永禮さんのような生産者のおかげで安全な牛乳を飲むことができ、ありがたいと思った」「熱意と意欲を感じ、応援した」とのご意見をいただき、大変手応えのある研修会となりました。

その後、牛乳の流通段階である「おからくクーラーステーション」や乳質検査を行っている当協会の生乳検査部の見学を行い、安全・安心な牛乳・乳製品が届けられていることを理解していただきました。

3. おわりに

本年度は、以上5つの講習会を行いました。

消費拡大や理解醸成と一言でいっても、すぐに目に見える効果は期待できませんが、地道な活動が今後結びつくことと考えています。

当事業は一応、本年度で最後となりますが、今後も関係者一丸となって、畜産物の消費拡大、畜産への理解醸成へと取り組んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、当事業実施にあたりまして、各関係機関の方には大変お世話になりました、ありがとうございました。